

大竹丸伝説

●前回の秋田物部文書についての祭祀線を調べた時に、坂上田村麻呂に成敗された大竹丸の死体が埋葬された笹岳観音ともつながった。征夷大将軍坂上田村麻呂の東征のとき、牧山で賊将大岳丸を退治し、死体を首・胴・手足に分け、牧山・富山・笹岳の三ヶ所に埋葬したという伝説である。東北縄文文化研究会 HP の筆者は、大竹丸=安倍一族だと断言している。安倍家は長髄彦の末裔であり私の先祖でもあると思っているので調べずにいられなくなった。まずは3カ所の観音を地図にチェックしてみた。



●すると、見るからに正三角形に近い二等辺三角形なので、さっそく線を引いておおよその距離を割り出してみた。しかし、400m も誤差があって二等辺三角形にはなれなかった。

■笹岳観音 笹岳寺（宮城県涌谷町） ←----20.1km ----→ 牧山観音 梅溪寺（宮城県石巻市）

■笹岳観音 笹岳寺（宮城県涌谷町） ←----19.7km ----→ 富山観音堂（宮城県石巻市）

●あきらめ切れずに境内社があるのではないか、それぞれ拡大して見てみたけれどやはり見当たらず。でも、なんでこんなにきれいな三角なのかが気になり、3カ所それぞれから円周ラインを引いて確認していた。すると、牧山観音の近くに「魔鬼山寺跡」がラインに乗ってきた。



■ 簀峯観音 簀峯寺（宮城県涌谷町） ←-----19.672km -----→ 魔鬼山寺跡（宮城県石巻市）

■ 簀峯観音 簀峯寺（宮城県涌谷町） ←-----19.672km -----→ 富山観音堂（宮城県石巻市）

● ぴったり同距離だった。ただ、底辺にあたる富山観音と魔鬼山寺跡までの距離は 20.345km で 673m 長く正三角形にはならなかった。

■ 簀峯観音 簀峯寺

山号は無夷山（むいさん）。本尊は十一面観世音菩薩。別称は簀岳観音（ののだけかんのん）。簀岳山の山頂にあり、奥州三十三観音の第九番札所に数えられている。大同 2 年（807 年）に坂上田村麻呂の創建と伝えられ、当初霧岳山正福寺と称していたが、嘉祥 2 年（849 年）に円仁が中興し、無夷山簀峯寺と改称した。奥州七観音の 1 つにも数えられた。



『宮城の伝説』（角川書店）

征夷大將軍坂上田村麻呂の東征のとき、牧山で賊將大岳丸を退治し、死体を首・胴・手足に分け、牧山・富山・簀岳の三ヶ所に埋葬し、そこに観音堂を建立した。そして、牧山には魔鬼(まき)山寺を建立した。また、田村麻呂が退治したのは、石巻地方にいた魔鬼一族の酋長の妻、魔鬼女(まきめ)であるともいう。

（以下、東北縄文文化研究会 HP より抜粋）

宮城県の牧山（魔鬼山）・富山・**簀岳(ののだけ)**の三山には、観音堂が建立(跡地だけのものもある)されており、「奥州三観音」と呼ばれている。（左上から牧山観音像・富山観音堂・簀岳観音堂）

田村麻呂が退治した鬼の体を分け、それぞれに埋葬しているとのことだが、富山（松島町）の鬼は『大竹丸』、**簀岳（涌谷町）の鬼は『高丸』**、牧山（石巻市）の鬼は『魔鬼女』と、鬼の名前が錯綜している。宮城県遠田郡涌谷町簀岳の無夷山「簀峯寺」の伝承では、蝦夷征伐の時、田村麻呂は敵味方双方の戦死者を葬った上に観音堂を建てたのが寺院の始まりだと案内書に記している。

ただし、この地で黄金が採集されたことに留意を要する。

筆者は膨大に史料に目を通した結果、大竹丸は安倍氏だと確信している。

宮城県遠田郡涌谷町簀岳神楽岡 1

■ 湊牧山観音 両峰山梅溪寺

梅溪寺の観音さまは「牧山観音」として、第 7 番札所の「富山観音」、第 9 番札所の「簀岳観音」とともに、奥州三観音に数えられます。梅溪寺がある牧山は、かつては魔鬼山といい、蝦夷の大嶽丸一党の本拠地でした。坂上田村麻呂は蝦夷征討の際、この山に攻め入って一党を滅ぼし、そこに一字を建立、陣中の守り本尊であった龍乗聖観世音菩薩を本尊として安置しました。

本尊を安置後、魔鬼山寺と号し、戦死者の供養と国家鎮護、五穀豊穰、海上安全を祈願したのが始まりと伝わります。延鎮僧都を開山として護持させたといわれ、「延鎮僧都魔鬼山寺旧跡」と刻んだ石碑が残っています。

その後、弘仁 7（816）年に田村麻呂は、現在の梅溪寺の前身、梅谷寺と号する天台宗寺院を創設し、魔鬼山寺の別当寺とするとともに、魔鬼山を「牧山」に改めました。（牧山の名の由来は諸説ありますが、ここでは梅溪寺の縁起に依っています）（とうほく見聞録 HP より抜粋）

牧山には延長5年（927）に編纂された延喜式神名帳に格式の高い名神大社として記載されていた零羊崎神社が鎮座し、延暦17年（798）に延鎮により創建された魔鬼山寺が境内を構えていました。

当時、魔鬼山（牧山）には蝦夷の頭領の1人大嶽丸が巢食い周辺に悪事を働いていた事から征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂が当地まで侵攻し、苦戦の末、大嶽丸の妻（又は妾）である魔鬼女を討ち取り、その菩提を魔鬼山寺に葬り、祟りを恐れて観世音菩薩（牧山観音）を勧請し安置しました。

その後、零羊崎神社は小祠となり、魔鬼山寺は牧山寺、長禅寺と寺号を改称し、田村麻呂が勧請した観世音菩薩は富山観音（宮城県松島町）、篁峯観音（宮城県涌谷町）共に奥州三観音に数えられ、奥州33観音霊場の第8番札所にも選定され信仰を広げました。

しかし、明治初頭に発令された神仏分離令により長禅寺は廃寺となり、堂宇は零羊崎神社の社殿、僧侶は零羊崎神社の神官に還俗し、長禅寺の仏像や仏具は同じ牧山に境内を構えていた梅溪寺に遷され奥州33観音霊場の第8番札所も梅溪寺が引き継ぎました。（宮城県：歴史・観光・見所 HP より抜粋）

■富山観音

富山観音堂は坂上田村麻呂が大同年間（806～810）に慈覚大師が作った観音菩薩像を安置したことがはじまりで、石巻の牧山観音・涌谷町の篁嶺観音とともに奥州三観音として人々に信仰されてきました。富山観音堂のご本尊は、千手観世音菩薩。

宮城県宮城郡松島町手樽三浦

●三角形のラインを引いて気づいたが、和湊神社が篁峯寺近くでライン上にぴったり乗っていた。ここには鬼をやっつける神楽が伝わっている。鬼の大竹丸（蝦夷）一族を征伐した歴史を伝えるものかもしれない。出雲族の聖地大朝日岳や早池峰山、大沼の浮島、饒速日命を祀る唐松神社とつながる和湊神社は、三つの観音堂に神気を引く役割なのかもしれない。



●そして、三観音の底辺ラインの魔鬼山寺跡のすぐ近くには、大変古い歴史を持つ羽黒山鳥屋神社も乗っている。同じような役割を持っていたのでは…

■羽黒山鳥屋神社

鳥屋神社は、「延喜式」に収められている牡鹿郡十座の一社で、十六代仁徳天皇 55 年（367 年）に東夷御征討の砌、伊勢神宮内宮末社猿田彦大神に御勅願あり、静海心のままに東奥牡鹿の鳥屋岬の津に着船し、官軍数々の利有り、因りて此の地に創祀されたと伝えられています。 御祭神/猿田彦神 船御魂神



●さて、調べているうちに、坂上田村丸が関わる三観音のうち二つを含んで奥州七観音があることがわかったので祭祀線を調べることにした。

『長谷寺靈驗記』

古くは奈良県桜井市初瀬にある長谷寺の靈驗譚が記された鎌倉時代前期の仏教説話集『長谷寺靈驗記』に「三迫の新長谷寺」並びに「奥州の六箇寺」として所収される。

桓武天皇の時代、東夷が常陸国まで攻め上がってきたため、延暦 16 年（797 年）12 月 5 日に坂上田村麻呂が征夷大將軍の宣旨を蒙り、長谷観音に参籠した。参籠から戻ると長谷清浄坊に仕える童子が葦毛の馬を引いてきた。戦いの時には必ずこの馬に乗るようにとのことで、田村麻呂は悦んだ。次の年の正月 16 日に京から常陸国に向かった。件の馬は手綱を向けずとも進むべきに進み、退くときに退き、海は水面を走り、山は高峰を飛び越え、射られても矢は立たず、傷を負ってもすぐ治る、尋常の馬ではなかった。田村麻呂は征夷を成したが陸奥国三迫でこの馬が忽として死んだため、石の唐櫃に納めて埋葬した。この墓は光を放ち、異香を薫じること 7 日、不思議に思って墓を掘ると、生身の十一面観自在菩薩が在り、田村麻呂はあの馬は長谷観音の化身で、日本を助け、我が願いを成したと尊く覚え、この地に寺を建てて新長谷寺と名付けた。また奥州に 6 箇所の寺を建て、延暦 19 年（800 年）6 月 16 日に同時に供養した。田村麻呂は分身して 6 箇所同時に着座して聴聞したが、これは、田村麻呂は毘沙門天の化身だからであった。京に凱旋した田村麻呂は、長谷寺清浄坊の上人に話をしたが、上人は全く知らず、馬を引いてきた童子も知らなかった。田村麻呂は葦毛の馬は長谷観音のご利益だと確証が得られた。

— 『長谷寺靈驗記』下 第 5「田村將軍得馬勝軍建立新長谷寺事」より大意

『風土記御用書出』

『長谷寺靈驗記』の成立から約 400 年後に記された華足寺の縁起では「三迫の新長谷寺」並びに「奥州の六箇寺」の寺名がみられる。仙台藩が安永年間（1772 年 - 1781 年）にまとめた『風土記御用書出』の「華足寺書上」に「田村將軍様奥州七ヶ所観音御建立由来之事」として所収される。

桓武天皇の時代、大武という鬼神が伊勢国鈴鹿山まで攻め登り、坂上田村丸が征夷大將軍を賜って、鬼神退治の宣旨を蒙ったため鈴鹿山で合戦をしたが、ことのほか打ち負けた。田村丸は千手観音に祈願

したところ、たちまち利生が顕れて鈴鹿御前と対面し、鬼神退治の秘術を伝授され、これを有して合戦すると、鬼神は打ち負けて奥州へ逃げ下り、栗原郡に身を隠した。そこが今の大嶽観音である。彼らの同類は7ヶ所にいて朝敵となった。

奥州に勅が下って、仙道で鬼神退治のご祈祷として大元明王の法をおこなわせ、今は田村明王という。田村丸が奥州の鬼神退治の宣旨を重ねて賜って下るときに大和国長谷寺雲井坊の使いが、はなのわれたる芦毛の馬を引いてきた。この馬に乗って奥州へ向かうと2夜3日で佐沼に着いた。鈴鹿御前が先にいて、大武は誑かされて毒酒をすすめられ、酔い臥せて不覚の有り体だった。將軍は太刀を抜いて首をはね、そこに首を埋めて上に観音を建立したのが今の大嶽観音である。骸は篁岳に埋めてその上に観音を建立して守護させた。この鬼神の同類は湊の牧山、水越の長谷、ひるかの小迫、鱒淵の華足寺、南部の三戸とはつの7ヶ所に居を構えたが、悉く退治されていづれにも観音を建立した。平城天皇の大同元年（806年）丙戌5月壬午の日午の時、同時に棟上げがあったが田村丸は7ヶ所の棟上げに立ち会った。通力早馬がいたためであった。

7ヶ所を巡って最後の華足寺で万成就したため、かの馬は死んだ。馬頭観世音であった。田村丸はかの馬を観音堂の上の山に埋め石経を書かせて塚を築いた。その後は夜になると光を放ち、不思議に思った人々が掘ると、馬は金色の馬頭明王として顕れ、石の箱をしたためて鬼門の方に埋め置いた。奥州の名馬はかの馬の残骨で、馬頭明王は馬の総鎮守である。（後略）

— 『風土記御用書出』「田村將軍様奥州七ヶ所観音御建立由来之事」より大意

■大嶽観音 大嶽山 興福寺

大嶽観音は、平安時代の初期大同2年（807年）に征夷大將軍坂上田村麻呂の創建、京都清水寺延鎮法師の開基という。今より1千有余年前、幾多の兵火などにより古記録を失い、詳細は判明しないが、近世の縁起によれば、蝦夷の将を大武丸といい、田村麻呂はこの蝦夷を当山において殺害し、遺骨を7分し、7か処に分葬して、それぞれ観音の浄閣を建てたが、大嶽観音はその一つと伝えられている。当時、東に興福寺、西に天王寺の2寺と48坊を造営し、国家鎮護、蝦夷の教化にあたったという。本尊は十一面観世音菩薩。



■長谷観音 遮那山 長谷寺

寺伝によると、鎮守府將軍藤原氏（誰を指すのかは不明）がこの山に登り、周辺の展望に感動して山頂に笏を埋め、後に釈道上人が登って山頂を遮那山と命名し、加賀より白山権現を勧請して法誓寺を建立したことに始まるそうです。その後、坂上田村麻呂が大同2（807）年に大和国初瀬山長谷寺を勧請して初瀬山長谷観音院と号します。奥州七観音の一つ。本尊は十一面観音菩薩。

宮城県登米市中田町浅水字長谷山 288

■小迫観音 楽峯山 勝大寺

勝大寺の開創は、延暦23年（804）。

坂上田村麻呂が奥州平定の戦の折り、古くからこの地に鎮座する白山神社龍藏大権現に戦勝を祈願し、戦が終わり無事帰洛する際にも再び神社に詣でた。勝利の報告をするとともに戦没者の霊を敵味方なく

吊うため、神社の前に一字を建立し、十一面観世音菩薩を安置しました。

■馬頭観音 竹峰山 華足寺

寺伝によると 807 年（大同 2 年）、坂上田村麻呂が蝦夷征討で当地を訪れた際、戦没者の霊と戦死した愛馬を慰める為に馬頭観音（馬頭明王）を勧請し、愛馬を埋めた塚の上に堂を造営したのが始まりとされる。以来、牛馬の守護神としてそれらに従事する者や関係者から信仰の対象となり奥州七観音の 1 つにも数えられた。

■長谷寺観音 宝珠山恵光院

元は青森県三戸郡三戸町の名久井岳山腹にあった長谷寺。南部氏が三戸城から盛岡城へ居城を移すと長谷寺も同行したため、現在は塔頭（末寺院）の宝珠山恵光院が残るのみである。田村麻呂が建立した十一面観音堂に起源を持つ。

（関連）

■田村明王 鎮守山泰平寺

田村麻呂が鎮守山泰平寺を建立し、本尊として大元帥明王像を安置したのが田村神社の元となる。「田村將軍様奥州七ヶ所観音御建立由来之事」で大元明王の法がおこなわれた田村明王。

●ざっと、宮城県内にある観音の祭祀線のつながりを調べてみた。

■小迫観音（栗原市） ←--- 24.811km ---→ 馬頭観音（登米市） ←--- 24.79km ----→ 簗峯観音（涌谷町）
※簗峯観音堂とおおよそ 20m の誤差

■大嶽観音（登米市） ←--- 10.150km ---→ 簗峯観音（涌谷町） ←--- 10.140km ---→ 飯野山神社（石巻市）
※飯野山神社とは境内の中だが本殿とはおおよそ 10m の誤差。

■長谷観音（登米市） ←--- 17.648km ---→ 簗峯観音（涌谷町） ←--- 17.648km ---→ 大瓜浅間神社（石巻市）

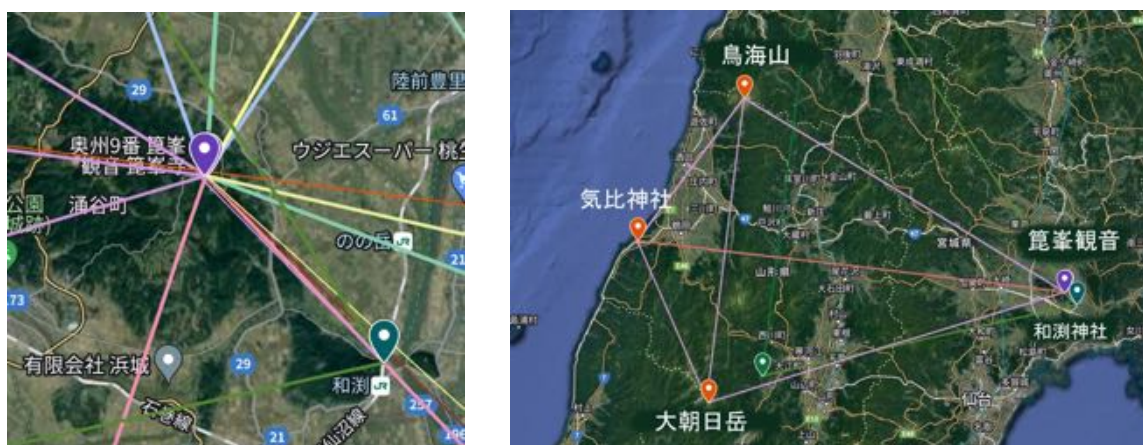
■長谷観音（登米市） ←--- 17.648km ---→ 簗峯観音（涌谷町） ←--- 17.668km ---→ 賀茂小鋭神社（石巻市）
※賀茂小鋭神社本殿とおおよそ 20m の誤差



●それぞれ 10～20m の誤差はあったが繋がったので、たしかに関係ある観音と言える。長谷観音は大瓜浅間神社とはピンポイントになったが山の上から移動した歴史があったので、賀茂小鋭神社が本命と思われる。



●奥州三観音にもなっている篁峯観音がターミナル的な役割をしているのがわかった。秋田物部家の祭祀線を調べてわかったが、ここは出雲族の聖地大朝日岳や鳥海山とつながる大きな祭祀線を持っている。和瀨神社と同様に大朝日岳や鳥海山の神気を七観音に引き込む役割なのだろう。



●青森三戸の長谷寺観音や福島郡山市の田村明王とのつながりは見つけれなかった。今後見つかったら、ここに追記しておくことにする。

●最後に、大和朝廷による金採掘のための祭祀線を重ねてみた。

涌谷町の黄金が初めて朝廷に献上されたのが 749 年。

坂上田村麻呂が征夷副将軍になったのが 793 年。

アテルイが斬首されたのが 802 年。

大嶽観音、篁峯観音、長谷観音、馬頭観音は坂上田村麻呂が 807 年に創建。

坂上田村麻呂が征伐した金採掘に抗う大竹丸一族（蝦夷）とは、単純にアテルイ達のことではないだろうか。

詳しくはリンクしている「石巻の神々」や「石巻 零羊崎神社・和瀨神社の役割」をご覧ください。



2023 年 9 月 15 日記